

ファイヤープログラム

(キャンプファイヤー・キャンドルファイヤー)

1 意義と役割

- ・真っ暗な闇と炎の対照。炎を囲んでの友との語らい、力いっぱい歌い踊る躍動感、そしてしばし沈黙して自己を振り返る。ファイヤープログラムは、感性豊かな子どもたちの心を開き、共に感動を味わう絶好の活動です。
- ・屋外で大きな火を囲んで、ダイナミックな活動が期待できるキャンプファイヤー、屋内で、静かに心に染み入る幻想的なキャンドルファイヤー。それぞれ一長一短があります。活動の目的や、活動参加者の構成に応じて組み入れてください。

2 プログラムの流れ

本来、定型といわれるものではありませんが、意義をふまえ単なるお祭り騒ぎにならないように以下のような三部構成で行うのが一般的です。

- 第1部「点火のセレモニー」（厳粛な雰囲気の中で）
- 第2部「交流のつどい」（歌唱、スタンツ、ダンスなどのレクリエーション）
- 第3部「消火（分火）のセレモニー」（再び厳粛な雰囲気です）

3 運営のポイント

- ・静→動→静という雰囲気のカーブを意識する。
- ・日常生活とは異なる雰囲気を醸し出す。
- ・それぞれの団体の性質を考えて独自のプログラムを考える。
(各団体の団体指導者、活動参加者による企画・運営)

4 事前の準備

- ・プログラムの検討、役割分担
- ・シナリオ作成（歌やスタンツの練習、準備）
- ・資材の準備（貸出し）、場所の選定
- ・安全確保の確認

5 活動終了後の流れ

- ・参加者の誘導
- ・消火と片付け
- ・用具の返却

キャンドルファイヤー

1 実施時期

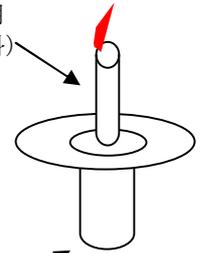
通年可能

2 青少年の家で準備できる物

◇無料で貸出し可

- ① 衣装（火の神 火の巫女） ② 神の杖 ③ アンプ（CDデッキ）
- ④ ライター ⑤ メインキャンドル台【写真1】 ⑥ シート
- ⑦ 燭台（大10本、小6本）【写真1】
- ⑧ 火の神用・個人用キャンドル台【図1】

火の神用・個人用
キャンドル（有料）

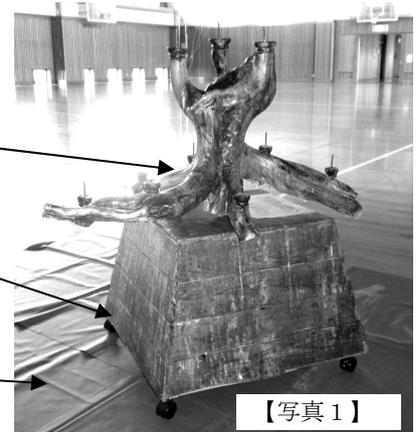


火の神用・個人用
キャンドル台

【図1】

◇有料で提供できる物

- ⑨ メインキャンドル（有料貸出し） 40円／本
 - ⑩ 個人用キャンドル（販売） 10円／本
- ※⑨⑩は団体で持参可



燭台

メインキャンドル台

シート

【写真1】

3 事前準備

(1) 活動場所

大体育室またはオリエンテーション室で行うことができます。部屋割の問い合わせ時に、活動場所をお知らせします。

(2) 物品の貸出し

- ・事務室から①～④及び⑨～⑩を受け取りください。
- ・大体育室（山側・南側の器具室）にある物品⑤～⑧は団体で準備をお願いします。

(3) 燭台・メインキャンドル台の設置

ロウが落ちるおそれのある部分（特にメインキャンドル周辺）には必ずシートを敷いてください。【写真1】

4 後片付けについて

- ・使用した物品は、元の場所（事務室または大体育室）に戻してください。
- ・メインキャンドルは貸出し物品のため、事務室に返却してください。
- ・個人用キャンドルは、お持ち帰りをお願いします。
- ・床に落ちたロウは、大体育室にあるへらで取り、たらいに捨ててください。使用した場所の清掃を必ず行ってください。

5 翌朝の現場確認について

翌朝にも、必ず現場を確認してください。忘れ物、後始末の様子を再度確認してください。

6 その他

- ・大体育室の照明（水銀灯）は、消灯後の再点灯には10分程度の時間を要します。点灯、消灯、再点灯のタイミングはご注意ください。
- ・“来たときよりも美しく”という気持ちで、物品を使用してください。